



ウエストパック銀行
2004年度 年次報告書要約

ウエストパック銀行は株主の皆様の関心に応えているのでしょうか？



ガバナンスそして企業責任という課題に当行が重点をおいて取り組んできたことは、今日この問いかけとますます関連を深めるものとなっています。投資家は大企業に透明性と説明責任が欠けていると感じ、失望しています。当行はこのような不信感が生まれるような状況は望ましくないと考え、この分野においてリーダーシップを発揮する計画を粘り強く実行していく決意です。

株主の皆様へ

業績

当行は、今年度も強固で安定した業績を達成しました。これは、適切なガバナンスと、明確で焦点を絞った計画を堅持した結果です。

当行の今年度の税引後利益は、前年度比16%増の2,539百万豪ドルに達しました。持続的で安定した収入増、継続的なコスト抑制、健全なリスク管理ならびに質の高い貸付が収益増に寄与しました。

現金収入は13%、1株当たり現金利益は11%増加し、今期目標において高水準を達成しました。

このような好業績を受けて、取締役会は普通株式1株当たり44豪セント（完全非課税）の期末配当を決定しました。中間配当42豪セント（完

全非課税）を加えると、今年度の年間配当は86豪セントになり、前年度を10%上回りました。

この結果、配当性向は過去最高の62%に達しました。

また株主資本現金利益率は20.7%、株主資本利益率は19.3%となり、きわめて重要な基準尺度である経済的利益（資本コストを上回る純利益）は、前年度比15%増の1,603百万豪ドルに達しました。

株価の推移と配当を考慮しますと、当行の株主利益は1999年9月以来、年平均18%増加しています。今年度の時価総額の利益は、9%増、金額にして26億豪ドル増でした。

すべての営業分野で2桁増の収益を記録し、当行は順調に歩んでいると確信しています。

進行中の生産性改善策を、通常業務を妨げることなく、成功裡に遂行した結果、収益に対

するコストの比率を昨年度の51%から49%に低下させました。この進行中のプログラムによって効率がより改善され、収益を拡大する業務に追加投資をする余地が生まれるでしょう。

近年、慎重な決定をくだしてきた結果、当行は良質な資産を堅持しています。資本および一般貸出引当金に対する不良資産の比率はさらに改善され、この1年で2.9%から2.5%に低下しました。引当金を引き続き慎重に繰り入れ、貸付金および支払保証の総額に対する貸倒引当金の比率は0.9%を維持しました。

ウエストパックは、幾度かの好機を生かし、4月の信託優先証券（2004 TPS）525百万米ドルをはじめ、国際資本市場でハイブリッド資本証券を追加発行しました。また7月には、1999年信託優先証券（TOPRS）322.5百万米ドルを償還しました。

当行は今年度、市場外で初の株式買い戻しを

実施し、4,500人を超える株主から38.5百万株を559百万豪ドルで買い戻しました。当行のニュージーランド子会社は、ニュージーランド・クラス株式の比例数を市場で買い戻しを行っており、9月30日現在、予定の1.125百万株のうち1.1百万株を買い戻しました。

当グループは、これらの方策によってコストと資本構成を大幅に改善する一方、規制当局や格付会社が求める水準を十分に上回る資本水準を維持しています。ティア1自己資本比率は当行の目標水準6.0－6.75%をやや上回る6.9%となり、調整済普通株式比率は4.8%で、目標とする4.5－5.0%の範囲内におさめることができました。

優れたコーポレートガバナンスに必要なのは、まず第一に、常に原則に立ち返り、価値の尺度に照らし合わせて判断をする姿勢です。透明性、公正な取引、ステークホルダーの利益を保護するという姿勢を貫くことが、コーポレートガバナンスには必要不可欠です。

ガバナンスと責任

当行は業績結果を超えて、ガバナンスと企業責任の実践を強化してきました。これらは、当行の抵抗力と長期的な収益拡大を持続していくためにますます重要になっています。

近年、新聞の見出しを賑わす企業スキャンダルの多くは、短期的なプレッシャーと狭い利己主義によるものです。自由市場体制自体が改善できないために、当局が介入せざるを得ませんでした。いまやすべての企業は、良くも悪くも、増大する報告と規制に直面し、株主にコスト負担を強いています。

規制の多くは必要であり十分に焦点を絞ったものですが、ブラックレター法や当局の規制は問題から目を背けるだけです。良き行動は規制したり、文書に表すことはできません。誠実さや人格の欠如を克服するためのルール作りなど不可能です。

まず第一に、優れたコーポレートガバナンスに必要なのは原則と価値です。透明性、公正な取引、ステークホルダーの利益を保護し、実践していくことが、コーポレートガバナンスには必要不可欠です。規制遵守のためのリーダーシップとともに、このような規制がなぜ存在するのかを理解する必要があります。またステークホルダーが当然抱く懸念に対処するだけの規制にとどまらず、さらに高いレベルを目指す積極性が求められます。

当行は、より高い倫理水準を目指す環境作りに努め、取締役会でも職場でも自由に話せる雰囲気を作ってきました。

また短期的利益を追求するあまり、長期的な健全さを損なう決定をしないように努めてきました。

当行はまた、種々の報告を過去の業績、企業目標及び戦略に限っていたのでは、もはや株主の皆様や他のステークホルダーのニーズに充分お応えできないということを認識しております。

そのため、職場、顧客、サプライチェーン、環境、コミュニティ、金融分野を網羅するステークホルダー向け報告書を別途作成してきたのです。その簡潔な要約を本報告書にも載せております。

このようなガバナンスと責任の実践は対外的に広く認識され、当行はニューヨークに本拠を置くガバナンス・メトリックス・インターナショナルにより、2004年のトップガバナンスとして、全世界から選ばれた26社のひとつとなりました。またダウジョーンズの「持続力指数」では、3年連続で世界のリーディングバンクに選ばれました。

取締役会

取締役会には3つの変更がありました。

バリー・キャップ（Barry Capp）は10年間にわたり多大なる貢献をして参りましたが、この度退任いたしました。取締役会と株主に代わり、この場を借りて彼の貴重な貢献に感謝の意を表します。

今年度、ニュージーランドを拠点とする初の非業務執行取締役として、ピーター・ウィルソン（Peter Wilson）が取締役会に加わりました。ピーターは2003年10月31日に就任し、金融、会計、事業改革における豊富な専門知識をもってしています。

また2004年7月8日、ゴードン・ケアンズ（Gord-

on Cairns）が非業務執行取締役役に就任しました。ゴードンはライオン・ネイザン社CEOとして活躍し、取締役会に貴重なビジネス知識をもたらしてくれるでしょう。

16年間にわたり多大な貢献をしたルー・エドワーズ卿（Sir Llew Edwards）は、今年度の株主総会後に退任します。ルーの類まれな貢献に感謝し、幸せな引退生活をお祈りします。

見通し

世界経済を見ると、多くの国々で好況が続いています。東アジアは安定したペースで拡大する見通しですが、経済成長抑制策を取っている中国が、アジア地域の成長見通しに陰を落としています。さらに原油価格の高騰と世界的な安全保障への懸念が、好調な成長見通しに対する脅威となっています。

オーストラリア経済は好調を維持し、来年のGDP成長率は3.5%程度と見込まれます。私達は前進しながら、よりバランスの取れた成長を目に出来るでしょう。輸出の伸びが3年間の横ばい状態から通常レベルに回復した一方で、内需はより持続可能なペースに鈍化するでしょう。雇用見通しは明るく、失業率も低水準にとどまる見込みです。

ニュージーランド経済はより複雑で、金融引締め効果が浸透する一方、移民の緩やかな増加が奏功するでしょう。

このような状況は今年度ほど顕著ではありませんが、当行は国内経済の安定と持続的な経済成長という明るい環境に恵まれています。

当行グループ内で進められている拡大と生産性に関わる多くのイニシアチブが、もう一つの契機になっています。この点において、当行には当行職員の持つ強みと多様性を活用する特権が与えられています。彼らの献身と貢献は計り知れず、その努力に感謝の意を表します。

最後に、取締役会は、当行がステークホルダーの皆様到来年も確固たる結果をお届けできる地位を維持し続けることを確信しています。


会長 レオン・エー・デーヴィス
 Leon A. Davis
Chairman

損益計算書 9月30日終了事業年度
ウエストバック銀行およびその子会社

	注記	連 結			当行(親会社)	
		2004 百万豪ドル	2003 百万豪ドル	2002 百万豪ドル	2004 百万豪ドル	2003 百万豪ドル
受取利息	3	12,939	10,885	9,789	12,601	10,833
支払利息	3	(8,184)	(6,559)	(5,584)	(8,339)	(6,943)
純利息収益		4,755	4,326	4,205	4,262	3,890
利息以外の収益	4	3,255	3,004	2,919	2,568	3,581
業務収益		8,010	7,330	7,124	6,830	7,471
業務費用	5	(3,940)	(3,763)	(3,895)	(3,577)	(3,731)
営業権償却費		(164)	(163)	(100)	(98)	(98)
貸倒引当金繰入額	13	(414)	(485)	(461)	(410)	(481)
税引前経常利益		3,492	2,919	2,668	2,745	3,161
法人税等	6	(913)	(728)	(471)	(646)	(542)
当期利益		2,579	2,191	2,197	2,099	2,619
少数株主に帰属する当期利益:						
投資運用制度		(30)	-	-	-	-
その他		(10)	(8)	(5)	-	-
ウエストバック銀行株主に帰属する当期利益		2,539	2,183	2,192	2,099	2,619
外貨換算積立金調整額		(11)	(156)	(76)	(26)	(147)
ウエストバック銀行株主に帰属し、株主持分に 直接認識される収益、費用および評価調整額合計		(11)	(156)	(76)	(26)	(147)
所有者との取引以外で生じた株主持分の増減額合計		2,528	2,027	2,116	2,073	2,472
その他エクイティ商品に係る分配控除後の普通株式 1株当たり利益(豪セント)	1(h)vi,8					
基本的		129.2	115.6	118.3		
完全希薄化後		127.7	115.3	117.9		

添付の注記1~44はオーストラリアの報告基準の目的により当該財務書類と不可分である。

米国において一般に公正妥当と認められた会計原則(以下「US GAAP」という。)が適用されている場合、ウエストバック銀行株主に帰属する当期利益、株主持分合計、資産合計および負債合計に対する重要な調整が要求されるが、その要約は注記45で開示されている。

日本語訳脚注:当年度報告書原文に掲載されている株主持分変動表および財務書類の注記1~45は、この日本語版年次報告書では翻訳を省略している。

貸借対照表 9月30日現在
ウエストバック銀行およびその子会社

	注記	連 結		当行(親会社)	
		2004 百万豪ドル	2003 百万豪ドル	2004 百万豪ドル	2003 百万豪ドル
資産					
現金および中央銀行預け金		1,800	1,786	1,599	1,643
他の金融機関に対する債権	9	9,538	6,035	7,967	4,531
商品有価証券	10	9,698	8,793	9,325	8,771
投資有価証券(連結ベースの時価は3,846百万豪ドル。2003年度は3,745百万豪ドル)	11	3,714	3,656	1,634	1,767
貸付金	12	182,471	160,473	175,498	154,918
支払承諾見返		5,534	3,788	5,786	4,031
生命保険に関する資産		12,957	10,522	-	-
海外における中央銀行への法定準備預金		523	425	504	410
子会社債権		-	-	24,212	15,980
子会社に対する投資	38	-	-	5,663	5,908
営業権	15	2,394	2,558	1,230	1,297
固定資産	16	1,445	842	660	668
繰延税金資産	17	838	1,019	811	864
グループ間の税金関連債権		-	-	136	-
その他の資産	18	14,167	21,442	12,834	20,255
資産合計		245,079	221,339	247,859	221,043
負債					
他の金融機関に対する債務	19	7,071	3,831	4,921	3,094
預金	20	146,533	129,071	146,151	128,722
発行済債券	24	36,188	29,970	23,138	18,866
支払承諾		5,534	3,788	5,786	4,031
未払法人税等	21	1	310	11	303
繰延税金負債	21	110	246	113	208
グループ間の税金関連債務		-	-	31	-
生命保険契約債務		10,782	9,896	-	-
子会社債務		-	-	31,651	22,847
引当金	22	427	462	378	389
その他の負債	23	17,685	25,225	16,792	24,079
借入資本を除く負債合計		224,331	202,799	228,972	202,539
借入資本					
劣後債	24	3,885	3,971	3,885	3,971
無期劣後債	24	546	573	546	573
借入資本合計		4,431	4,544	4,431	4,544
負債合計		228,762	207,343	233,403	207,083
純資産額		16,317	13,996	14,456	13,960
株主持分					
当行(親会社)の持分:					
普通株式	25	4,234	3,972	4,234	3,972
積立金		(83)	(73)	(73)	(46)
利益剰余金		7,812	7,343	7,312	7,271
転換社債	25	-	-	2,472	2,252
無期キャピタル・ノート	25	-	-	511	511
当行(親会社)の持分合計		11,963	11,242	14,456	13,960
その他の株主持分:					
ニュージーランド・クラス株式	25	453	471	-	-
預託優先証券(TOPrS SM)	25	-	465	-	-
固定利付再設定信託証券(FIRsTS)	25	655	655	-	-
信託優先証券(2003年度TPS)	25	1,132	1,132	-	-
信託優先証券(2004年度TPS)	25	685	-	-	-
その他の株主持分合計		2,925	2,723	-	-
ウエストバック銀行株主に帰属する株主持分合計		14,888	13,965	14,456	13,960
少数株主持分:					
投資運用制度		1,408	-	-	-
その他		21	31	-	-
株主持分合計		16,317	13,996	14,456	13,960
偶発債務、偶発資産および契約債務	34				

添付の注記1~44はオーストラリアの報告基準の目的により当該財務書類と不可分である。

US GAAPが適用されている場合、ウエストバック銀行株主に帰属する当期利益、株主持分合計、資産合計および負債合計に対する重要な調整が要求されるが、その要約は注記45で開示されている。

日本語訳脚注:当年度報告書原文に掲載されている株主持分変動表および財務書類の注記1~45は、この日本語版年次報告書では翻訳を省略している。

ウエストバック銀行の株主に対する独立監査報告書

監査意見

私どもの意見によれば、ウエストバック銀行の財務報告書は、

- ・ オーストラリアの2001年会社法に規定されているとおり、ウエストバック銀行およびウエストバック銀行グループ（以下に定義する。）の2004年9月30日現在の財政状態および同日に終了した事業年度の業績について、真実かつ公正に概観するものであり、
- ・ オーストラリアの2001年会社法、会計基準および財務報告書に関するその他の法規、ならびに2001年会社規制法（the Corporations Regulations 2001）に準拠して表示されている。

この監査意見は、私どもの監査報告書の以下の部分とともに読まれなくてはならない。

範囲

財務報告書および取締役の責任

財務報告書は、ウエストバック銀行（以下「ウエストバック」という。）およびウエストバック銀行グループ（以下「当グループ」という。）の2004年9月30日に終了した事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主持分変動表およびキャッシュ・フロー計算書、財務書類注記、ならびに取締役の宣言で構成される。当グループは、ウエストバックおよび当事業年度におけるウエストバックが支配する子会社によって構成される。

ウエストバックの取締役は、2001年会社法に準拠した財務報告書の作成および真実かつ公正な表示についての責任を負っている。これには、不正および誤謬を防止し、発見することを目的とした適切な会計記録および内部統制の維持、また当財務報告書に固有の会計方針および会計上の見通しについての責任が含まれる。

監査アプローチ

私どもは、ウエストバックの株主に対して意見を表明するために、独立した監査を実施した。私どもの監査は、財務報告書に重要な虚偽表示がないことについて合理的な確証を得るために、オーストラリアの監査基準に準拠して実施された。監査の性質は、専門家の判断の利用、試査、内部統制に固有の制限、ならびに絶対的ではないが相当程度の証拠の入手可能性といった要素によって影響される。そのため、監査によってすべての重要な虚偽表示が発見されると保証することはできない。

私どもは、オーストラリアの2001年会社法、会計基準および財務報告書に関するその他の法規に準拠して、財務報告書がすべての重要な点に関して公正な概観を与え、ウエストバックおよび当グループの財政状態ならびに経営成績およびキャッシュ・フローに示される業績に関する私どもの見解と合致しているかどうかについて評価手続を行った。

- 私どもは以下の手続に基づいて、私どもの監査意見を形成している。
- ・ 財務報告書における金額および開示を裏付ける証拠となる情報についての試査による検証。
- ・ 適用されている会計方針および開示の適正性ならびに取締役が行った重要な会計上の見通しの合理性に対する評価。

この監査報告書が年次報告書に含まれる場合、当財務報告書との重要な矛盾点がないかどうかを判断するために、年次報告書中のその他の情報を読むことが私どもの手続に含まれる。

私どもの手続の性質および範囲を決定する上で、私どもは財務報告書に対する経営陣による内部統制の有効性を検討したが、私どもの監査は内部統制に関して保証することを目的としていない。

私どもの監査には取締役もしくは経営陣が行った事業判断についての慎重性の分析は含まれない。

独立性

私どもの監査の実施にあたり、私どもはオーストラリアの職業倫理基準および2001年会社法のうち適用ある独立性の要件に従っている。

ブライスウォーターハウスクーパース

D.H. アームストロング
パートナー
シドニー、オーストラリア
2004年11月8日

日本語版脚注：当年次報告書原文に掲載されている株主持分変動表および財務書類の注記1～45は、この日本語版年次報告書では翻訳を省略している。

ウエストバック銀行の取締役会および株主に対する独立登録会計事務所の報告書

私どもの意見によれば、添付の連結貸借対照表、関連する連結損益計算書、キャッシュ・フロー計算書および株主持分変動表は、ウエストバック銀行およびその子会社の2004年および2003年9月30日現在の財政状態ならびに2004年9月30日に終了した3年間の各事業年度の経営成績およびキャッシュ・フローについて、オーストラリアの2001年会社法、会計基準、その他の開示に関する専門的法規および2001年会社規制法（the Corporations Regulations 2001）に準拠して、すべての重要な点に関して公正な概観を与えている。当該財務書類は、ウエストバック銀行の取締役の責任であり、私どもの責任は、私どもの監査に基づいて、当該財務書類に対する意見を表明することである。私どもは、オーストラリアにおいて一般に公正妥当と認められた監査基準および公開企業会計監視委員会（米国）の基準に準拠して、当該財務書類の監査を実施した。これらの基準では、財務書類に重要な虚偽表示がないことについて合理的な確証を得るために私どもが監査を計画し実施することが要求されている。監査には、財務書類の金額および開示を裏付ける証拠の試査による検証、適用されている会計方針および経営陣による重要な見通しの評価、財務書類の全体的表示の評価が含まれる。私どもは、私どもの監査が、私どもの意見の基礎として合理的なものであると考えている。

オーストラリアにおいて一般に公正妥当と認められた会計原則は、いくつかの重要な点に関して、米国において一般に公正妥当と認められた会計原則とは異なる。こうした相違の本質およびその影響に関する情報は、連結財務書類の注記45に記載されている。

ブライスウォーターハウスクーパース

シドニー、オーストラリア
2004年11月8日

日本語版脚注：当年次報告書原文に掲載されている株主持分変動表および財務書類の注記1～45は、この日本語版年次報告書では翻訳を省略している。

キャッシュ・フロー計算書 9月30日終了事業年度

ウエストバック銀行およびその子会社

注記	連 結			当行（親会社）	
	2004 百万豪ドル	2003 百万豪ドル	2002 百万豪ドル	2004 百万豪ドル	2003 百万豪ドル
営業活動によるキャッシュ・フロー					
利息受取額	12,835	10,809	9,699	12,497	10,789
利息支払額	(7,929)	(6,603)	(5,779)	(8,153)	(7,000)
配当金受取額（生命保険を除く）	34	36	27	340	1,050
利息以外の受取額	4,648	4,169	3,652	3,864	4,019
業務費用支払額	(3,593)	(3,318)	(3,291)	(3,274)	(3,045)
商品有価証券の純（増）減	(135)	1,759	(791)	206	1,795
法人税等支払額（生命保険を除く）	(1,106)	(1,131)	(699)	(957)	(870)
生命保険：					
保険契約者および顧客からの入金	2,895	2,958	2,531	-	-
利息その他類似の項目	95	119	58	-	-
配当金受取額	320	379	323	-	-
保険契約者およびサプライヤーへの支払	(2,390)	(3,025)	(1,961)	-	-
法人税等支払額	(180)	(60)	(3)	-	-
営業活動から得た現金・預金（純額）	43	5,494	6,092	4,523	6,738
投資活動によるキャッシュ・フロー					
投資有価証券の売却による収入	73	189	492	73	119
投資有価証券の満期償還による収入	639	1,260	335	379	713
投資有価証券の購入	(655)	(2,114)	(1,873)	(132)	(398)
貸付金証券化による収入	241	247	2,472	241	247
純増加：					
他の金融機関に対する債権	(3,486)	(698)	(212)	(3,425)	(858)
貸付金	(24,505)	(25,942)	(25,501)	(22,848)	(25,480)
生命保険に関する資産	(61)	(186)	(316)	-	-
海外における中央銀行への法定準備預金	(74)	(58)	(19)	(70)	(55)
子会社債権	-	-	-	(4,643)	(5,390)
子会社に対する投資	-	-	-	(7)	(1,435)
その他の資産	(1,684)	(1,497)	(967)	(666)	(1,238)
固定資産の購入	(284)	(323)	(284)	(259)	(282)
固定資産の売却による収入	90	85	262	36	71
その他の投資の売却による収入	22	8	246	22	8
子会社からの資本の送金による収入	-	-	-	36	2,567
子会社の取得（取得現金控除後）	43	(547)	(823)	-	-
子会社および事業の売却（譲渡現金控除後）	43	165	360	118	296
投資活動に使用した現金・預金（純額）		(30,066)	(29,492)	(31,145)	(31,115)
財務活動によるキャッシュ・フロー					
借入資本の発行	500	1,679	-	500	1,679
借入資本の償還	(485)	(978)	-	(485)	(978)
普通株式の発行による収入	110	87	91	110	87
FIRsTSの発行による収入（発行費12百万豪ドル控除後）	-	655	-	-	655
2003年度TPSの発行による収入（発行費13百万豪ドル控除後）	-	1,132	-	-	1,132
2004年度TPSの発行による収入（発行費8百万豪ドル控除後）	685	-	-	685	-
普通株式の買戻し	(559)	-	(397)	(559)	-
ニュージーランド・クラス株式の買戻し	(18)	-	(11)	-	-
TOPRsの償還	(446)	-	-	(446)	-
純増（減）：					
他の金融機関に対する債務	3,182	(695)	(949)	1,692	(1,333)
預金	18,451	19,384	20,095	18,016	19,560
発行済債券	5,178	3,658	2,495	3,949	1,220
子会社債務	-	-	-	4,822	3,513
その他の負債	(330)	(368)	46	(38)	(143)
配当金および分配金の支払	(1,672)	(1,038)	(977)	(1,662)	(1,029)
少数株主に対する配当金の支払	(6)	(2)	(2)	-	-
財務活動から得た現金・預金（純額）		24,590	23,514	26,584	24,363
現金・預金および現金等価物の純増（減）額	18	114	600	(38)	(14)
現金・預金および現金等価物の為替相場変動による影響額	(4)	3	(10)	(6)	1
現金・預金および現金等価物の期首残高	1,786	1,669	1,079	1,643	1,656
現金・預金および現金等価物の期末残高	43	1,800	1,786	1,669	1,643

営業活動から得た現金・預金（純額）とウエストバック銀行株主に帰属する当期利益との調整は注記43において詳述されている。添付の注記1～44はオーストラリアの報告基準の目的により当該財務書類と不可分である。US GAAPが適用されている場合、ウエストバック銀行株主に帰属する当期利益、株主持分合計、資産合計および負債合計に対する重要な調整が要求されるが、その要約は注記45で開示されている。

日本語版脚注：当年次報告書原文に掲載されている株主持分変動表および財務書類の注記1～45は、この日本語版年次報告書では翻訳を省略している。

ABN 33 007 457 141

ウエストパック銀行 東京支店 〒105-0001 東京都港区虎ノ門五丁目2番6号 虎ノ門第2ワイコビル4階
TEL:(03)3438-3080 Fax:(03)3438-3064

*この日本語版年次報告書は英語版の抄訳です。英語原版をご希望の方は下記にご請求下さい。
三菱信託銀行 〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 TEL.03-5391-1900(代)

また当行のインターネットホームページで完全な財務報告にアクセスすることも可能です。URLアドレスは

www.westpac.com.au